

PHP新書「地震予報」読者の皆様へ
「No.1778 長期継続大型地震推定前兆変動」
原稿校了後の前兆変動変化についての続報

続報 No 477

2026. 10/23 (金曜) 12:00 発表

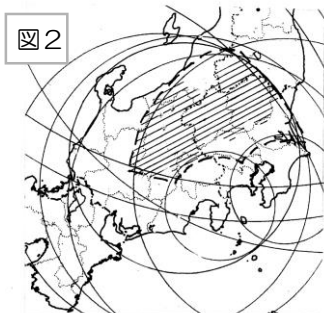
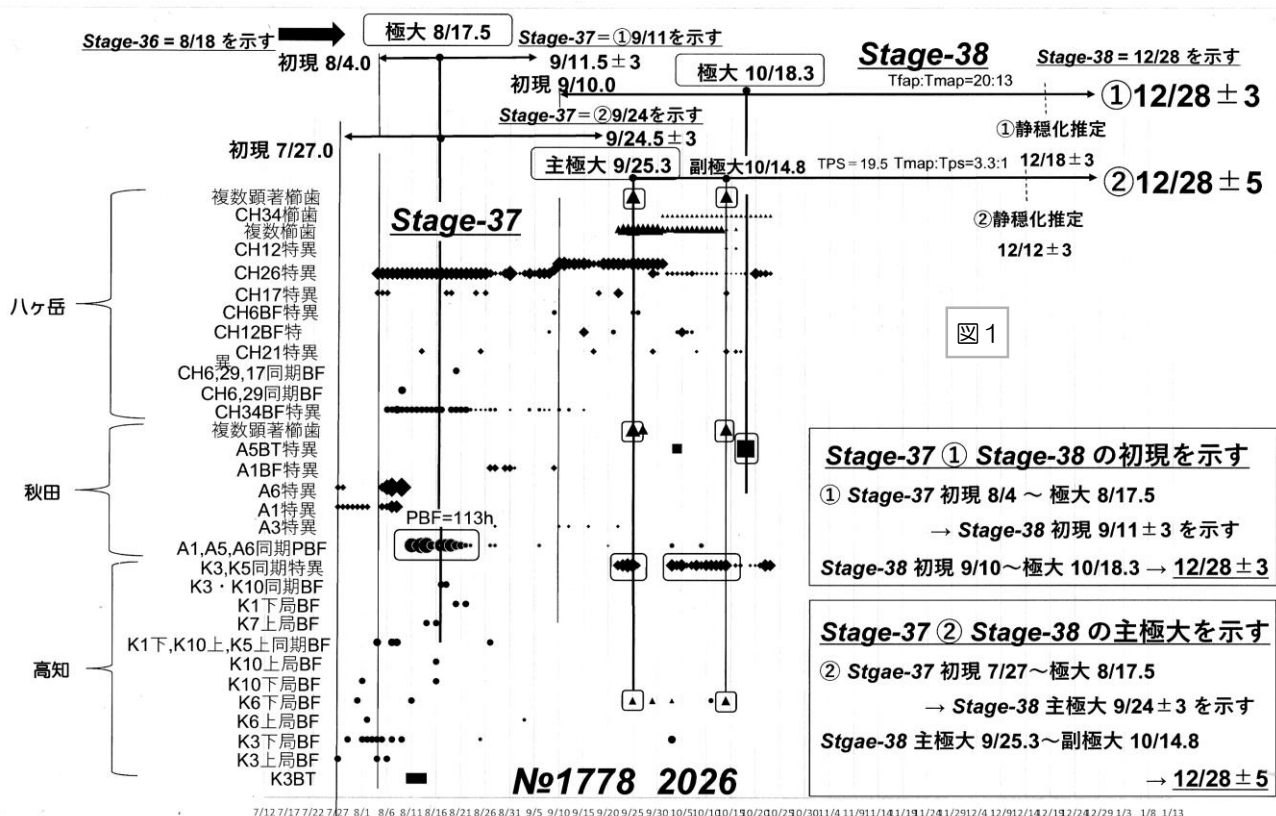
電離層におけるVHF帯域電波の
散乱変化モニター観測

八ヶ岳南麓天文台 電離層モニター観測所 代表：串田嘉男
Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254 jishin-yohou.com

※通常のプレート境界型地震は変動極大～発生迄は2日～5日です。当該No1778前兆変動は陸域地殻地震推定で、過去例の無い18年以上変動が継続する初めて体験する極めて特殊な前兆変動です。18年以上の変動継続の中で38ものステージで変化して参りました。特に発生時期のみ苦慮しております。No1778以外の他の地震前兆につきましては本HPでは公開できません。E-mail またはFAXで配信している観測情報でのみ公開しています。本観測研究をご支援下さる皆様にNo1778以外の別の地震前兆変動の有無や発生推定内容等の観測情報を配信しています。観測情報配信の「公開実験」に是非ご参加下さい。皆様の本観測研究に対するご支援(情報配信参加)を賜りたくお願い申し上げます。

No1778 変動継続出現のため 10月末発生の可能性は否定

Stage-37 2段階の変動初現 極大は共通 → Stage-38 の2つの時期を示す
Stage-38 2系統の前兆変動群 どちらも → 12月28日±3 を示す



◆変動は継続出現のため、10月末発生の可能性は否定。Stage-38 は10/18の秋田観測点A5のBT特異の極大と、火山近傍地震型顕著特異変動の主極大・副極大の2系統の変動群が認められます。Stage-37 の初現が2段階であることから、図1中枠内の様な関係が考えられると思われる。この様な関係は過去例がなく、正しい場合は初体験となります。推定される時期に変動が終息するが確認が必要です。今後の観測で修正の可能性もあります。続報します。

●推定領域：図2の点線領域内＝大枠推定領域（火山近傍領域の可能性高い）
斜線領域＝火山近傍で可能性が考えやすい推定領域
図3の斜線領域内の可能性有

●推定規模：PBF平均値＝**M7.8±0.3**（PBF最大値＝**M8.0±0.3**）
主震十余震型が考えやすい（2016年熊本地震の様な複合地震は考えにくい）
※地震発生に伴う震源近傍火山の噴火の可能性は現状では低い。
但し、今後発生時期までの間に噴火型変動が観測された場合は別。

●推定時期：**12月28日±3**
※推定される時期に変動終息が確認されることが条件

○推定地震種：震源浅い日本列島陸域地殻地震
○推定発生時刻：午前**9時±2時間** or 午後**6時±3時間**

C) Copyright 2026 YSBO 八ヶ岳南麓天文台